

はじめに

昨今、教育をめぐる社会の状況は、人口減少・高齢化、地域コミュニティの変化、感染症等の拡大、技術革新等により大きく変化しています。このような中で、人々が生涯を通じて目標や生きがいをもって生きられる社会、持続可能な社会の実現のためには、生涯学習の機会の充実や地域住民同士のつながりづくりがより一層求められています。

栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」では、「めざすとちぎの将来像」として「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を掲げています。この実現に向けて設定された重点戦略の1つの柱として「人材育成戦略」が位置づけられています。県民一人一人があらゆる機会にあらゆる場所で学習でき、その成果を適切に生かすことができるよう、学習機会の提供や学習環境の充実といった「生涯学習・社会教育推進体制」を整備・拡充することは、県の目指す将来像の実現に向けた重要な取組の一つです。

栃木県教育委員会では、「教育振興基本計画 2025ーとちぎ教育ビジョンー」の基本施策13の主な取組として、「生涯学習推進の基盤づくり」、「生涯にわたる学びの機会の充実」、「学びを生かした地域づくりの促進」を挙げ、「これまでの対面式の講座提供に加え、ICTを活用したオンライン講座の実施」、「多様な学習機会の提供」、「主体的に地域で活動する人材の育成」等に言及しています。

栃木県総合教育センターでは、コロナ禍を契機に、対面での研修に加えオンラインを利用した研修を実施していますが、生涯学習研修においては、知識やスキルの習得のみならず、「他者と連携・協働しながら主体的に社会に参画できる人づくり」のため、受講者同士のつながりづくりも重視しています。今後、充実した生涯学習研修を実施するには、対面型研修とオンライン型研修の利点と課題を明らかにし、研修の実施方法をその内容や目的に応じ対面とオンラインで適切に使い分ける必要があります。

本報告書では、当センターで実施している生涯学習研修における対面型研修とオンライン型研修の学習効果を明らかにすることで、今後の研修の実施の在り方について考えるための資料としてまとめました。

当センターといたしましては、今回の調査を基に、研修事業や市町等への支援活動の充実に取り組んでいきたいと考えております。また、関係機関の皆様におかれましても、今後の研修事業に役立ていただければ幸いです。

最後になりましたが、本調査研究を進めるにあたり、御指導と御助言を賜りました大分大学大学院教育学研究科（教職大学院） 教授 清國 祐二氏に深く感謝申し上げます。

令和7（2025）年3月

栃木県総合教育センター 所長 大高 栄男